

## (15) 柔道

### 令和6年度 第59回群馬県高等学校総合体育大会柔道競技会 兼第72回関東高等学校柔道大会群馬県予選 実施要項

- 1 期日及び会場 令和6年5月10日(金)～11日(土)  
ALSOK 群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話：027-234-5555
- 2 競技日程及び競技種目  
令和5年5月10日(金) 10:30～ 女子団体試合  
5月11日(土) 10:30～ 男子団体試合
- 3 競技規定  
国際柔道連盟試合審判規定(最新版)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。  
(1) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。※僅差は「指導差2」とする。  
(2) 「技の内容」と「指導」の重みは次の順とする。 一本勝ち=反則勝ち>技有>僅差
- 4 競技方法  
団体試合(男女共に試合時間は3分とする)  
ア 男子はトーナメント戦、女子はトーナメント戦またはリーグ戦を行う。  
イ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は以下の項目に従って決定する。
  - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - ② ①で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。  
\*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
  - ③ ②で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
  - ④ ③で同等な場合は「僅差」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
  - ⑤ ④で同等の場合は代表戦を行う。  
\*代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。  
\*代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。  
ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。  
延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。  
ウ 男子順位決定戦(敗者復活戦)は次のように行う。準々決勝で敗れた4チームと、準決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった4チーム(但し、同じ差の場合、得点内容をみる。一本勝ち…10点、技有勝ち…5点、僅差勝ち…1点とし、点差が少ないチームが出場する。点差でも同じ場合は対戦が後のチームとする)の8チームで順位決定戦(敗者復活戦)を行う。  
エ 女子リーグ戦は次のように行う。
  - ① 各試合において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。
  - ② リーグ戦後、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合は、代表戦を抽選によるトーナメント方式で行う。  
オ 男子は順位決定戦(敗者復活戦)、女子はトーナメント戦またはリーグ戦の結果を総体得点とする。
- 5 引率・監督
  - (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあつては教員とする。)また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
  - (2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
  - (3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 6 参加資格
  - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
  - (2) 全日本柔道連盟に登録をした者。
  - (3) 年齢は平成17年(2005年)4月2日以降に生まれた者とする。但し同一学年での出場は1回限りとする。
  - (4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - (5) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。

## 7 出場制限

### (1) 男子団体試合

1校1チーム(定時制課程、通信制課程が出場する場合2又は3チーム)監督1名、選手5名、(先鋒から軽量級3名、無差別2名)、補員2名(軽・無差別各1名)の8名とする。軽量級は73kg以下とし、補員の出場は登録した階級に限る。外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

### (2) 女子団体試合

1校1チーム監督1名、選手3名(先鋒から軽量級2名、重量級1名)、補員2名(軽・重量級各1名)の6名とする。但し、重量級の者がいない場合、軽量級の者が重量級に出場することができる。軽量級は57kg以下とする。但し、補員の出場は登録した階級に限る。外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

## 8 組合せ

4月24日(水)10:00より県立勢多農林高等学校で常任委員が行う。

## 9 表彰

優勝校に優勝盾(持ち回り)を男子は1~8位、女子は1~4位に表彰状を授与する。

## 10 申込

4月19日(金)までに必着。下記事務局にメールで申し込む。

〒373-0033 群馬県太田市西本町12-2 電話 0276-31-7181

太田高校 栗原 俊夫 メールアドレス toshio-kurihara@edu-g.gsn.ed.jp

## 11 関東大会出場権

男子団体上位7校、女子団体上位3校は、6月1日(土)・2日(日)に栃木県宇都宮市行われる第72回関東高等学校柔道大会の出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場条件となる。

## 12 選手変更

5月9日(木)の17:00までに委員長に連絡する。大会当日、校長の証明書・医師の診断書・柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。補欠の補充は各階級1名までとし、伝染病その他天災による場合特例を認める。

## 13 受付

大会当日、監督及び選手がぐんま武道館1階玄関にて、9:00~9:30までに行う。

## 14 計量

男女共に5月10日(金)、9:20~9:50に男子は試合会場、女子は医務室で行う。  
(時間内計量、無差別は行わない)

## 15 監督会議

大会当日、10:00より第4会議室にて行う。

## 16 その他

- (1) 感染症等の対策については、原則、各中央競技団体のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこととする。
- (2) 選手は所定のゼッケンをつける。女子は白で無地のTシャツを着用する。
- (3) 男子団体試合上位8校、女子団体試合上位4校はインターハイ予選のシード権を得る。
- (4) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - ①大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 貴重品の管理は各自で行うこと。
- (6) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (7) 下駄箱は使用できないため、各校にてビニール袋にて保管すること。
- (8) 原則として役員、監督、選手、係員生徒、出場する所属の部員以外の入場は認めない。選手1名につき1名の観客入場を認める。
- (9) 試合撮影については可とするが、SNSまたはネット上での投稿は不可とする。